

ヘンケルジャパン株式会社
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel:045-758-1820 Fax:045-758-1826

旧製品名 LOCTITE® Bi g Foot™ Zero.V.O.C
ビックフット ZV
2014 年 11 月

製品概要

LOCTITE® PC 6315™ (LOCTITE® Bi g Foot™ Zero.V.O.C)は、下記の特徴を有します。

分類	エポキシ
形態	2 液—混合要
混合比 (体積比), 主剤:硬化剤	4.26 : 1
混合比 (重量比), 主剤:硬化剤	8.5 : 1
硬化機構	室温硬化
用途	すべり止めコーティング
利点	● 作業場でのアクシデント (すべりや転倒) を低減 ● コーティング箇所の難燃化 ● 耐薬品性、磨耗に優れた耐性 ● 車両交通の激しい場所でも安全なグリップ力を発揮 ● 溶剤を含まない—ワイナリー、食品加工施設、病院、密室などの低臭性が好まれる場所での使用に適す。 ● 殆どの酸、アルカリ、溶剤、油、グリース、塩水、洗剤、アルコール、ガソリン、ジェット燃料、作動油に耐性がある ● 耐衝撃性良好

LOCTITE® PC 6315™ (LOCTITE® Bi g Foot™ Zero.V.O.C)は、無溶剤の2液混合型エポキシ系すべり止めコーティング剤です。ローラーやコテで塗布でき、非常に優れた耐久性があります。通行量が多く、悪臭を嫌う場所のコンクリート、木、金属の上に非常に耐久性があるすべり止めコーティングを行うことが出来ます。
-29℃～ +60℃の通常乾いた場所で使用できます。代表的な用途は、コンクリート・鉄製のスロープ、通路、ロッカールーム、積み荷デッキ、船舶、機械室、組立作業場、階段等、溶剤を含まずに耐久性の高い滑り止めコーティングが必要とされる部分などです。

代表的な液状時の特性

揮発性有機化合物 (VOC), ASTM D 3960, g/L	0
固形分, %	100
塗布範囲	
ローラー	1.6-2.8m ² / 3.3L
コテ	3.2m ² / 3.3L

代表的な硬化特性

乾燥時間, 22℃, 時間	12~24
交通量少	24~72
交通量多	

備考:

乾燥時間は温度と乾燥時間は温度と塗布の厚さに左右されます。温度が10℃未満では硬化時間は比較的長くなり、温度が27℃を越えると比較的短い時間で硬化します。塗布の厚さは厚いほど、硬化に時間がかかります。

硬化後の一般特性

22℃で硬化

物理特性

摩擦係数, ASTM F 609	
乾燥時	1.1
湿潤時	1.0

その他

本製品は純酸素又は高濃度の酸素システムでの使用は避けて下さい。また、塩素や他の強酸化剤物質のシール剤として決して使用しないで下さい。
本製品の安全な取り扱いに関する情報は、弊社製品安全性データシート(MSDS)をご参照下さい。

使用方法

塗布表面の準備

備考: プライマーを処理することにより、LOCTITE® PC 6315™ (LOCTITE® Bi g Foot™ Zero.V.O.C)の接着力及び耐久性が向上します。

コンクリート、木、タイルやその他の多孔質基材にコーティングする場合、LOCTITE®PC 7641™ (LOCTITE® Big Foot™ Water Based Primer Sealer)の技術資料を参照して下さい。

金属表面にコーティングする場合、LOCTITE® PC 7643™ (LOCTITE® Big Foot™ Metal Primer) の技術資料を参照して下さい。

LOCTITE® PC 6315 (LOCTITE® Bi g Foot™ Zero.V.O.C)は、洗浄し乾燥した表面に塗布できます。推奨洗浄方法は次のとおりです。

1. コートされる表面は、確実に清浄、乾燥し、異物の除去を行ってください。
2. 埃や粉塵は堅いブラシや乾燥したオイルの含まない圧縮空気除去して下さい。
3. オイル、ワックスやグリースは、LOCTITE® SF 7840™ (LOCTITE® Natural Blue Cleaner)のような水溶性洗浄剤を用いて除去して下さい。溶解した汚れは、まだ濡れている間

に、清水で洗い流して下さい。

SSPC-SP-1規格の石油系溶剤を用いて洗浄する他の方法もあります。

洗浄作業で、溶剤が蒸発していない液状状態で、溜まったオイルやグリスを除去することが重要です。

グリスやオイルを確実に溶解させるために表面に溶剤を十分塗布して下さい。

溶解したグリスやオイルを含んだ溶剤は、乾燥する前に拭き取して下さい。

- 濃度や種類により異なりますが、化学薬品等が付着した箇所は、洗剤がまだ濡れた状態で、清水を充分流しながら除去して下さい。その後、表面を確実に乾燥させて下さい。
- 洗浄後、粒子状の残渣は、油分を含まず乾燥した圧縮空気ではブラッシング又はブローイングして除去してください。

新規施工コンクリート

- 新規施工コンクリートは風通しの良くし、少なくとも30日間養生し確実に硬化させて下さい。
- 硬化後、新規施工コンクリートは一掃する必要があります。コーティング時の接着力に妨げになるレイタンス、表面硬化剤、グリス及びオイル等の汚染物を除去して下さい。
- 適切な洗浄は化学的又は機械的手段を使用して行う必要があります。
- 薄膜コート層および表面硬化物、ペンキ・レイタンスを除去した床面を準備する推奨方法としては、ポータブル・ショットブラスト洗浄機で機械的除去を行うことです。
- レイタンスおよび付着した粒子の化学洗浄は、塩酸あるいは酸性緩衝溶液を用いた表面のエッチングにより行うことができます。
酸性溶液の使用は取扱マニュアルおよび安全指示に従って下さい。
酸により反応したコンクリート表面の残留物は、勢いのある多量の清水のすすぎによって除去して下さい。
表面は確実に乾燥させて下さい。
- 備考
酸エッチングはオイル、グリス或いはワックスを除去できません。
コンクリートに広げられた酸性溶液の泡立ちが生じない場合、コンクリート表面に、オイル、グリス、ワックス、薄膜コート層、表面硬化剤あるいは他のシーラーがあるか検証して下さい。
そのような層が存在する場合、それを除去してください。

経年経過及び未コートコンクリート床

- グリス、油および化学的汚染物質に対する検査および、その後の適切な洗浄方法に関しては、詳細が記載された「新規施工コンクリート」を参照願います。

木材

- 綺麗で正常な木材表面を露出するために風化した木材表面を除去して下さい。
滑らかな表面の木材は、表面をサンドペーパーで荒らして下さい。

タイルとグラスファイバー

- 艶のあるセラミックタイルやグラスファイバーはサンドペーパーで表面を荒らす必要があります。表面を荒らした際の砂や埃の残留物は、エアブロー又はアルコールにより拭き取り、除去してください。

金属

- サンドブラストですべての塗膜、錆を除去してください。
- オイル、グリス、埃、ワックス或いは他の異物は、水溶性脱脂洗浄剤を用いて除去して下さい。
- 清水で洗い流し、十分乾燥させて下さい。

混合方法

主剤を適切なミキシングブレードを使用し、予め攪拌して下さい。容器の底にある沈殿物もよく混ぜ、均一な状態になるように混合して下さい。

硬化剤の容器の内容物をすべて主剤に注いで下さい。上記と同じミキシングブレードを使い完全に混ぜて下さい。

缶の底や壁面についた物も掻き取りながらよく混ぜ、硬化剤が均一に拡散するように3～5分間混ぜて下さい。

塗布方法

LOCTITE® PC 6315™ (Big Foot™ Zero V.O.C.)は、表面温度10～54℃の間で使用し、この温度以下または以上のときは使用しないで下さい。塗布にはローラーかコテ若しくはスプレーを使用して下さい。

ローラー — 不均一にうね状に塗布すると、最高のすべり止め特性を発揮します。

- フェノール・ローラーを使用して下さい。すべり止め成分の粒団が塗布表面から充分に見えていることが重要です。そうでないと、濡れた時に滑りやすくなる可能性があります。
- 塗布面に本製品を約60cm x 15cmの面積に一旦、「リボン状」に注いだ後、圧力を加えてローラーで手前に向かって広げて下さい。何度も転がしたり、過度な圧力を加えないで下さい。溶接部に沿って厚く塗り重ねることはできません。（溶接部には沿ってではなく横切るように）厚く塗りすぎると適正な硬化が得られません。
- 高温では乾燥時間を短縮でき、反対に低温及び比較的低湿度が高いと乾燥時間が長く必要になります。屋外での使用の場合は塗布後少なくとも12～24時間は雨を避けて下さい。最終硬化段階の5～7日は、水、油、化学物質への過度な接触を避けて下さい。

コテ — 表面を粗く仕上げると高い滑り止め効果が得られます。

- 約10cm x 30cmの漆喰塗り用のフレキシブル・ブレードのコテを使用して下さい。エッジ部分はノッチの入ったものではなく、平らなものを使用して下さい。
- 塗布面に本製品を約60cm x 15cmの面積に一旦、「リボン状」に注いで下さい。
- コテを表面に対し約45°の角度で持ち、履くような動作で広げて下さい。逆方向へ広げるときは、コテの角度を逆にして下さい。そして、自分の方に引くようにして下さい。コーナー部に塗布するときは、コテに付けて、真っ直ぐ自分の方に引くように塗布します。溶接部では厚塗りを避けるため、溶接部に横切るように塗布します。

表面のメンテナンス — 最大の滑り止め効果を保つために、表面はいつもきれいにしておいて下さい。以下の洗浄方法を推奨しています。

1. 生物分解性クリーナーや多目的用の脱脂/洗浄剤を塗布面に注いで下さい。
2. 長柄の粗毛ブラシか、ポリッシャーで表面を擦って下さい。
3. その後、きれいな水で流し乾燥させて下さい。チューインガム等の異物はスクレーパーやパテナイフで除去し、上記の方法で清浄して下さい。
4. この滑り止めコーティングは非常に高い耐久性をもっていますが、永久に効果が続くというわけではありません。特に、通行量の多い場所では、時期を見て塗り変えて下さい。本製品は重ねて塗り加えることができます。塗り加えるときは上記の方法に従って、表面の準備、混合、塗布を行って下さい。

製品の規格値ではありません。

記載のデータは情報の提供のみを目的としています。本製品の規格値につきましては、弊社までお問い合わせください。

保存方法

本製品は、未開封の状態で乾燥した涼しい場所に保管して下さい。容器から出した製品は、使用中に異物が混入している場合があるので残液を元の容器には戻さないで下さい。保管条件は製品容器ラベルに表示することがあります。

最適な保管温度：8 ～ 21℃。 8℃以下又は 28℃以上で保管すると製品特性に影響を与える恐れがあります。

弊社は上記の推奨条件以外で保管或いは汚染された製品に対する責任を負うことは出来ません。

更なる情報が必要な場合はヘンケルジャパン(株)にお問い合わせ下さい。

備考

ここに記載されているデータは情報の提供のみを目的にしたもので、その信頼性は高いものと考えます。当社は、他の者が当社の管理の及ばない独自の方法で得た結果に対する責任は負いかねます。ここに記載された生産方法が使用される方の目的に適合するか否かの判断や、取扱時並びに使用時に起因する危険から人や物を保護する為に有効と思われる予防対策の採否の決定は、使用される方の責任に於いて行なって下さい。**記載のデータは規格値ではなく記載の適用例全てに対応出来るとは限りません。本製品を使用し製造された製品に対しての保証は致しません。又、本製品を使用し製造された製品の破損、信頼性、利益の損失等についての責任は負いかねます。**ここに述べられた様々なプロセス又は性質は Henkel の特許使用のライセンスを与えた事を意味するものではありません。本製品の正式採用を検討される前に、この資料を手引きとして試験的に使用される事をお薦めします。本製品は一つ以上のアメリカ合衆国又は他国の特許、あるいは特許出願により保護されています。

商標権の使用について

特別な記載がない限り、この書類に記載された全ての商標権は米国また他国のヘンケル社に帰属します。®マークは米国特許商標局を示します。